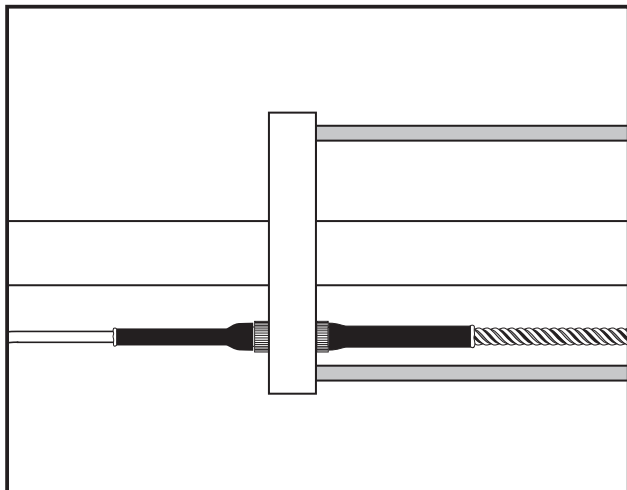


TT-JC-CK-MC-F TT-JC-CK-MC-M

TT-JC バルクジャンパケーブル対応
現地施工用コネクタ

施工要領書



はじめに

本キットは TT-JC バルクジャンパケーブルにコネクタを現場施工する部品を含んでいます。キットは1つのコネクタ用部分を含んでいます。メスコネクタ (- F) かオスコネクタ (- M) かどちらかを指定してください。

必要工具

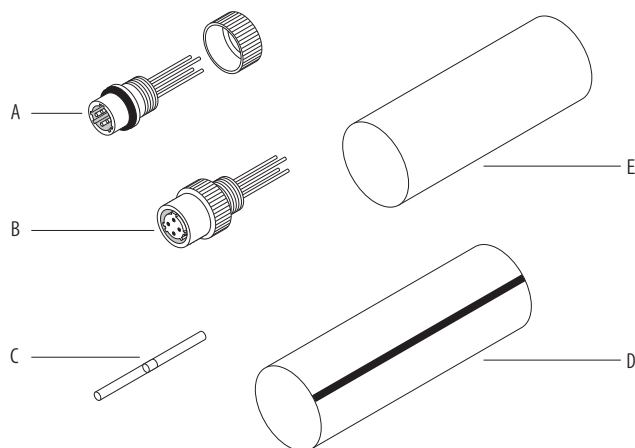
- ラジオペンチ ●カッターナイフ
- グリーンリー社製ストリッパー (1916、1917)
- 炎が出ない加熱装置 (Ultratorch 200)
- 絶縁抵抗計 (20 メガ以上測定可能なもの Fluke 87 同等品)
- TT-CK-TOOL-KIT ●マスクテープ

注 意

- 炎が出る加熱装置を使用しないでください。
- オスコネクタが必ず検出器側になるようにセンサーケーブルに取付けてください。
- TT-JC バルクジャンパケーブルにのみ使用してください。他の TraceTek センサーケーブルには使用できません。

キット内容

項目	数	名称
A	1	TT-CK-MC-M 止め金具付オスコネクタ (TT-JC-CK-MC-M の場合)
B	1	TT-CK-MC-F メスコネクタ (TT-JC-CK-MC-F の場合)
C	9	ソルダスリーブ・スプライス (予備 1 個)
D	1	縦縞模様のある熱収縮チューブ (約 50mm)
E	1	熱収縮チューブ (約 50mm)



⚠ 警告

火災の危険。ヒートガンや炎の出ない加熱装置は危険場所では火災や爆発の原因になります。これらの装置を使用する前に可燃性物質や蒸気が存在していないことを確認して下さい。

危険場所での作業は現場の安全指示に従って下さい。

⚠ 注意

作業中、熱収縮チューブを焦がしたり焼いてしまった場合、目、肌、鼻、喉に刺激性のある臭いが発生します。

1 ケーブル端部の処理

- ほとんどの施工はセンサケーブルから漏液検知&位置検出モジュール間のジャンパケーブルです。センサケーブルに接続する部分はメスコネクタ (TT-CK-MC-F) でなければなりません。
- オスコネクタは漏液検知&位置検出モジュールに向かっているケーブル端に必ず施工すること。

2

カッターナイフの端面

25 mm

- 端部から25mmの部分のケーブルの被覆にカッターナイフで少し切り込みを入れる。
- 被覆を切り開かないこと

3

- 切り込み部分を分離するために被覆を上下に折り曲げる。

- 分離した被覆部分を取除く。

4

- ワイヤストリッパーのあごの部分が入るように4本の電線を広げる。
- ワイヤストリッパーの18AWG スロットを使用して各電線の被覆を16mm 剥ぎ取る。

16 mm

- 短いジャンパケーブルについては電線を被覆から引っ張り出さないように注意する。
- 電線の撚りがばらけている場合は、再度撚りなおして4本のしっかりした束を作る。

5

OL

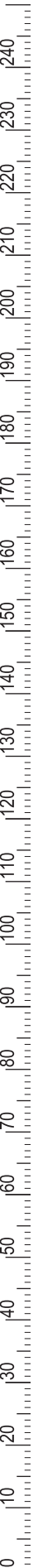
- 絶縁抵抗計を使用して各2本の電線間の抵抗を測定する。
- 抵抗値はどの2本の電線間でも20メガオーム以上(抵抗計によっては∞、OL等)でなければなりません。
- 抵抗値が低い場合はケーブルの反対側の電線の端部が接触しているか確認する。
- 必要があればジャンパケーブルを交換する。

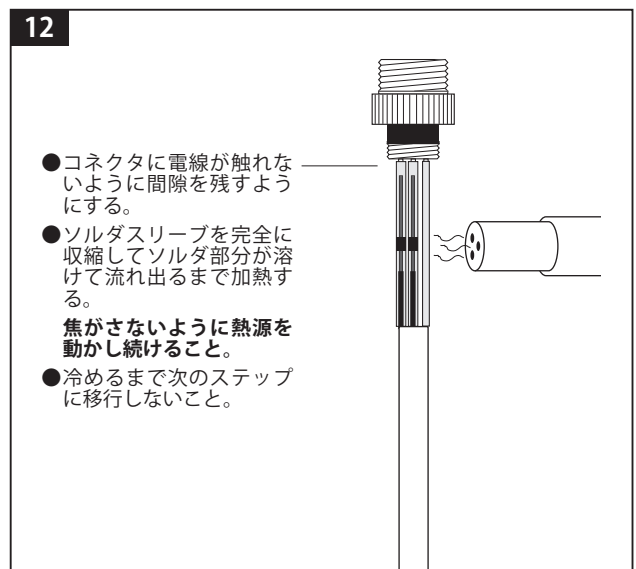
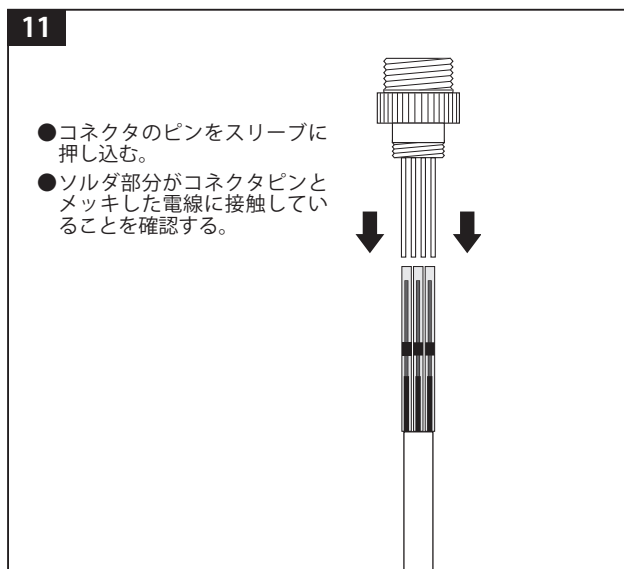
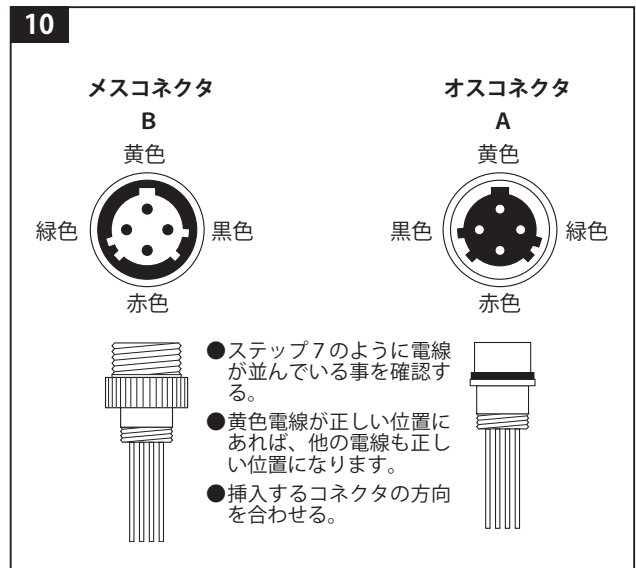
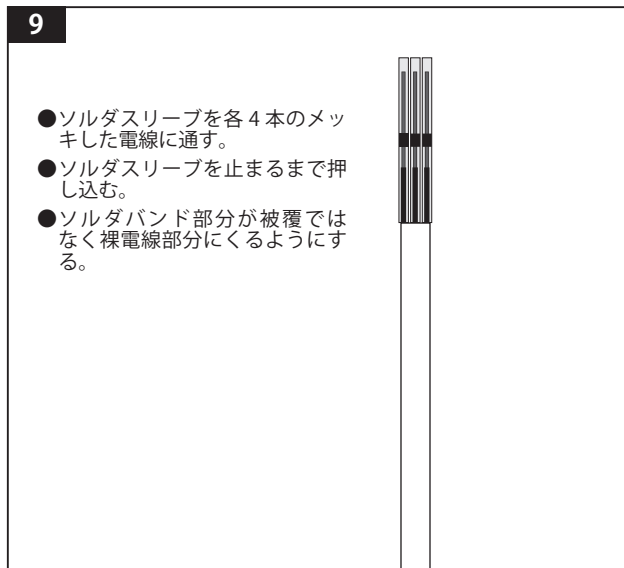
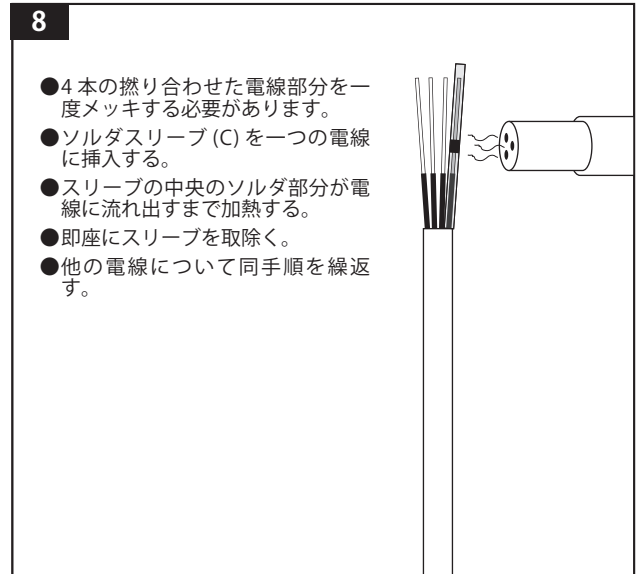
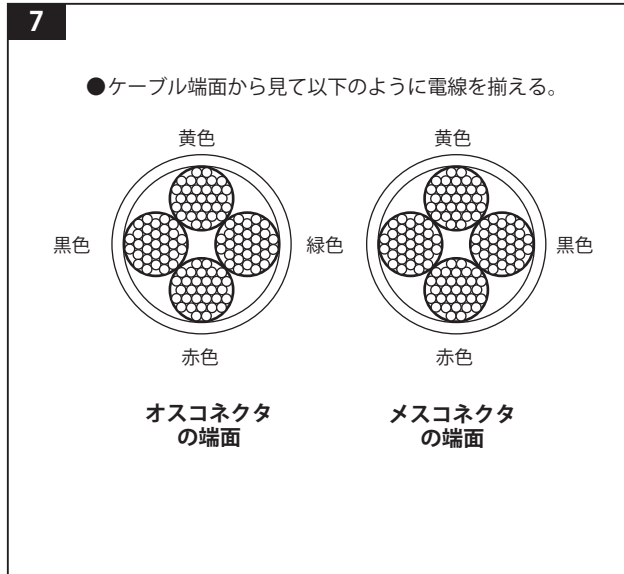
6

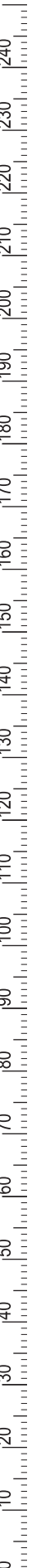
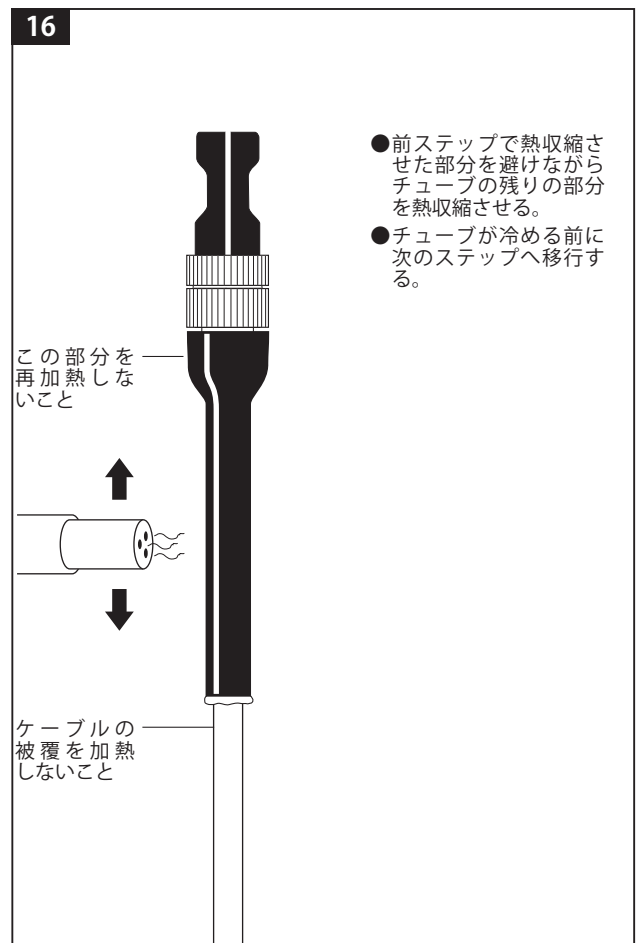
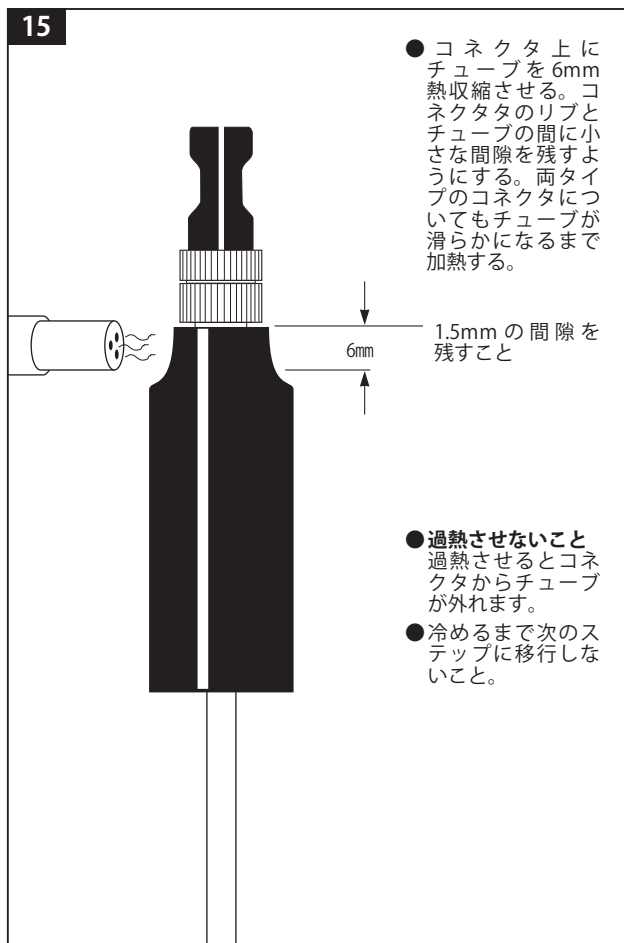
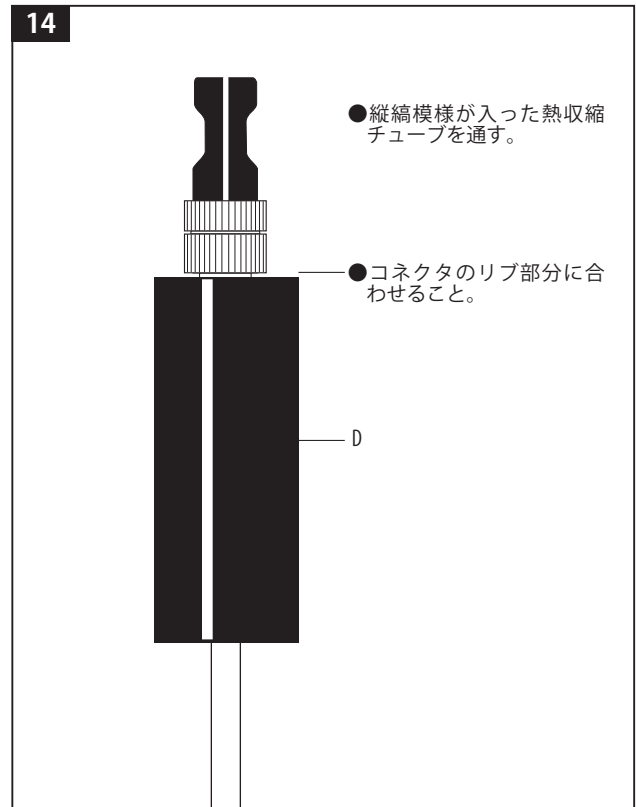
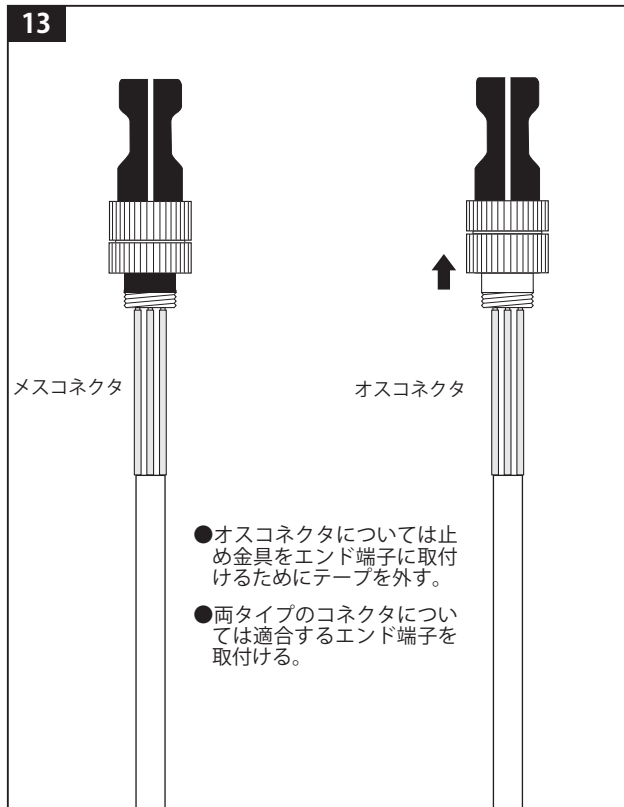
- オスコネクタ (A) についてのみ止め金具を小さな穴の方からケーブルに通す。

止め金具

- 止め金具が移動しないようにテープで固定する。







17



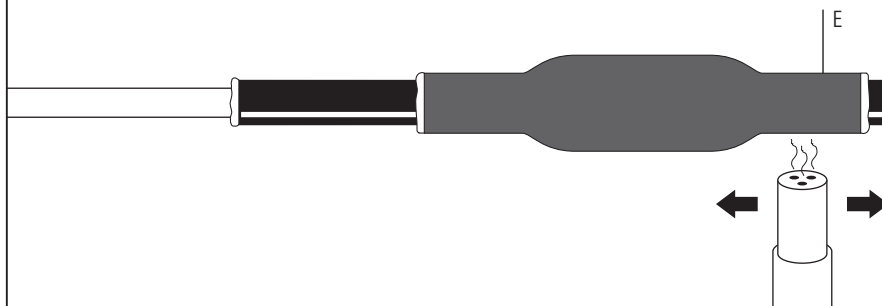
- チューブが熱い間にケーブル側のチューブの端の露出した接着剤を確認する。
- 空隙が確認された場合は、グローブか布切れでチューブをそっと絞り溶けた接着剤で空隙が埋まるようにする。
熱い接着剤が手に直接かからないようにする。
火傷します！

18 コネクタ組立部分のテスト



- テストするコネクタに適合するテストツールを取付ける。
 - テストツールピン間の抵抗値を測定するために抵抗計を使用する。
 - 各2ピン間の抵抗値は20メガΩ以上なければなりません。
 - 抵抗値測定テストの1つでも不良が発生した場合；
- 1) ケーブルの反対側にコネクタがない場合は電線の先端が接触していないか確認する
 - 2) 必要に応じてコネクタを切断して新しいものを取付ける

19 コネクタ部分のシール



- コネクタを接合する前に細い方のチューブを一方のケーブルに通す。オス・メスコネクタをしっかりと接続する。オス・メスコネクタ接合部分が中央になるようにチューブをスライドする。チューブの中央部分から始めて端部に向かってチューブがコネクタの形になり接着剤が両端部から流れ出るまでしっかりと熱収縮する。
- ケーブルを取り扱う前にコネクタ部分が冷えるのを待つ。

tyco

Flow Control

Tyco Thermal Controls

タイコ サーマル コントロールズ

〒 214-8533

川崎市多摩区登戸 3816 番地

電話 044-900-5108

FAX 044-900-5146

本カタログに記載する情報(図を含む)は、信頼のおけるものと考えていますが、その情報の完全性について保証するものではありません。ご使用の際には、選定した製品が用途に適合するかどうかについて貴社にて評価・確認していただく必要があります。当社の責任範囲は、製品の取引条件にて確認されることのみであり、製品の使用、誤使用等によって起こった偶発的、間接的損傷については、製造物責任法で定める場合を除き責任を負いません。仕様の変更は予告なしに行うことがあります。また、仕様に影響を与えない範囲での材料、工程等の変更を行うことがあります。但し、別途契約書にて確認した取引条件についてはそれに従うものとします。